

① 健やかに生き生きと暮らせる福祉のまちづくり

● 1 か月児健康診査を公費で負担



新年度から1か月児健康診査を公費負担とし、疾病の早期発見や保護者の不安解消を図ります。

● 地域の外科医療を支える医師の育成



愛媛大学と連携し、消化器外科医を育成する新しい講座を設置します。地域で働く外科医を増やすことで、市立周桑病院の診療体制を強化し、地域で安心して高度な手術や治療を受けられる体制をつくります。

● 女性の健幸応援プロジェクト推進



ポータルサイトの充実や中学校でのモデル事業、プレコンセプションケアなどを展開し、健康づくり計画を推進します。

● こども誰でも通園制度を実施

就労要件を問わず、時間単位などで柔軟に通園できる制度を実施し、全ての子育て家庭を支援します。

● 医療的ケア児の受入体制を整備

保育所などへの看護師配置や保育士の研修受講等を支援し、医療的ケアが必要なこどもの受入体制を整えます。

● 基幹相談支援センターを設置

相談支援機能を集約した「基幹相談支援センター」を新設し、障がい者への包括的な相談体制を構築します。

② 豊かな自然と共生するまちづくり

● 省エネ家電購入をポイントで支援



省エネ性能に優れた家電を購入した市民に、費用の一部をLOVE SAIJOポイントで支援します。

● ゼロカーボンシティの実現へ

環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用し、住宅・事業所への再エネ設備導入を促進するなど、脱炭素化を着実に進めます。

● 地下水保全協議会で方策を協議

「地域公水」の理念のもと、地下水保全協議会で課題解決に向けた具体的な方策を引き続き協議します。

● 地下水モニタリングを継続実施

継続的なモニタリングと必要な採取規制により、持続可能な地下水の保全に努めます。

● 次期ごみ処理施設の基本構想策定

道前クリーンセンターの令和16年度末供用終了を見据え、広域化・集約化に向けた基本構想を策定します。

令和8年度 西条市施政方針

希望と挑戦、 躍動する西条

市議会3月定例会で、市長が新年度の市政運営の考え方を表明しました。その概要を紹介いたします。



施政方針の詳細は▼



西条市長
高橋敏明

活力あるまちづくりを推進

令和8年度は、令和7年度からスタートいたしました「第3期西条市総合計画」の2年目を迎える年です。本計画の推進にあたり、私たちは、本市の将来人口推計が示す厳しい現実に真正面から向き合わなければなりません。このような状況の中、これまで本市では、子育て世代を主なターゲットとした移住・定住施策に力を注ぎ、人口減少のスピードを緩やかにすることに一定の成果を上げてまいりました。この流れをさらに確かなものとし、未来にわたって活力ある地域社会を維持する

ため、引き続き若者世代が安心して結婚・出産・子育てを行うことができる環境を更に充実してまいります。これらの施策により、地元で愛着と希望を抱けるような魅力あるまちづくりを推進し、「住んでみたい、住み続けたい」と思っていただけの地域づくりに全力を注いでまいります。

そして、こうしたまちづくりを更に確かなものとするために、令和8年度から20年間にわたる「西条市都市計画マスタープラン」及び「西条市立地適正化計画」の見直しを進めてまいります。本計画は、人口が減少する中であっても、市民生活に必要な医療、福祉、商業

重点施策で市政を力強く前進

令和8年は、冬季オリンピックを皮切りに、ワールドベ이스ボールクラシック、FIFAワールドカップが開催され、世界中の人々がアスリートたちの挑戦に胸を躍

などの諸機能を主要な拠点に集約し、それらを公共交通で結ぶ「コンパクトプラス・ネットワーク」の考え方を基本としており、これにより、将来にわたり都市の活力を維持し、誰もが安全・安心に暮らし続けられる持続可能なまちづくりの礎を築いてまいります。

らせ、国境を越えた一体感に包まれる年となります。本市においても、この世界的な飛躍と挑戦を機運と捉え、未来への確かな希望を市民や市議会の皆様と共に創り上げるべく、市政運営に邁進してまいります。特に、ひうち地先の廃棄物処理用地への企業誘致による経済活性化、市立周桑病院等における医師確保や救急医療の強化・経営改善、そして教育の充実としての小中学校の再編について着実に道筋をつけていくことに注力いたします。これらの施策を強力に推し進めることで、市民の皆様が健やかで安全・安心に暮らせる社会基盤を築いてまいります。

⑥ 活力あふれる産業振興のまちづくり

● 中小企業の生産性向上と賃上げを支援



物価高騰の影響を受ける中小企業の設備導入費を助成し、賃金引き上げに取り組む企業も支援します。

● スマート農業で農家所得を向上

担い手への農地集積やスマート農業の推進など、農業者のニーズに応じたきめ細やかな支援を実施します。

● 森林整備と鳥獣被害対策を推進

管理が行われていない森林の整備を進めるとともに、野生鳥獣による農作物などへの被害対策も講じます。

● 種苗放流と新規漁業者を支援

種苗放流を継続し、新規漁業就業者の創出・定着促進に向けて漁船燃料代などの支援を行います。

● サイクルツーリズムで交流人口拡大



日本初開催の世界最大級の自転車国際会議「Velo-city」開催の機会を捉え、欧州サイクリストを当市へ誘導し、市内経済への幅広い波及効果を創出します。

● 中小企業のDX・GX推進を支援

(株)西条産業情報支援センターと連携し、DX・GXを推進する中小企業を積極的に支援します。

● DX人材育成と多様な人材活用促進

DX人材の育成や「まちの人事部」を通じた多様な人材の活用により、産業人材の育成・確保につなげます。

⑦ 構想の実現に向けて

● ロケ誘致でシティプロモーション



「ロケツーリズム」を新たな切り口に、移住・定住促進やふるさと納税増収、シビックプライド醸成に取り組めます。

● 地域コミュニティの維持・強化

自治組織によるコミュニティ育成のための施設整備や必要な取組に対し、引き続き支援を行います。

● 移住コンシェルジュできめ細かく支援

移住セミナーでの就職相談や移住コンシェルジュにより、仕事・住まい・交流まで一体的にサポートします。

● お買い物カードとポイント還元で支援



全市民対象の「お買い物カード」配布とLOVE SAIJOポイント還元を一体展開し、地域経済の好循環を後押しします。

● オンライン化で市民サービス向上

申請手続きのオンライン化や窓口業務フローの見直しを進め、市民サービスの向上と事務効率化を図ります。

④ 災害に強く安全で安心して暮らせるまちづくり

● 消防車両などの更新を継続

市民の生命・財産を守るため、消防車両などの更新を引き続き進め大規模災害時の迅速な対応に備えます。



● 東予東部3市で消防指令を共同運用

西条・新居浜・四国中央の3市で、令和10年度末からの消防指令センター共同運用開始に向け協議を進めます。

③ 快適な都市基盤のまちづくり

● 橋りょうの耐震補強を優先実施

南海トラフ巨大地震などに備え、緊急輸送道路や避難路に架かる橋りょうの耐震補強を優先的に進めます。



● 企業立地に伴う上下水道の整備

廃棄物処理用地整備に合わせ上下水道を計画し、企業の立地促進と地域経済の活性化を図ります。



● 官民連携で空家対策を強化

民間専門事業者と連携し、増加する空家へのさらなる対策強化を図ります。

⑤ ふるさとを愛する豊かな心を育む教育・文化のまちづくり

● 学校施設の耐震改善とLED化推進



老朽化施設の耐震・劣化改善を実施し、体育館照明のLED化も順次進め、安全な学校環境を確保します。

● 不登校対策支援員を配置



専任支援員が教職員・関係機関と連携し、一人一人の状況に応じた支援と居場所づくりを目指します。

● 小中学校の給食費を助成



物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、小中学校の給食費における保護者負担分を助成します。

● 佐伯矩先生生誕150周年シンポジウム開催

「栄養学の父」佐伯矩先生の生誕150周年を記念したシンポジウムを開催し、功績を広く顕彰します。

● 人権意識の向上と共生社会の実現

多様な学習機会の提供と継続的な啓発活動により、人権文化が息づく明るい西条市の実現を目指します。